



社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟 普及事業部

●「9/7 第2回ビギナーズ杯@五反田BS」エントリー受付開始！お申込みはお早めに！

お待たせしました。普及事業部主催の超初心者大会『第2回ビギナーズ杯』の申込み受付を開始しました。参加資格はMP3点未満、午前と午後の2セッション、各セッションとも定員 96 名 (24T) の大会で、1セッションのみの参加もOKです。

参加される初心者さんたちにブリッジの楽しさを知っていただきたいという熱い思いのスタッフが「やさしく」ケアします。ブリッジ・インストラクターの皆さま、ゲームに「出たことのない」and/or「慣れていない」方たちが周りにいらっしゃいましたら、ぜひ参加をお勧め下さい。「誰にでも“初めの一步”はありますよ」と背中を押してあげてください。アフターブリッジの楽しさも味わっていただけるよう、解説付きのハンドレコードも配布します。優勝ペアには特製記念グラスを進呈、さらに上位ペアだけでなく、飛び賞、ブービー賞等多数の賞品を用意し、できるだけ多くの皆様に楽しんでいただける大会にいたします。

【開催の主旨と背景】

「ビギナーズ杯」はその名の示すとおり、入門講習会をひととおり修了した初心者の方を対象にしたゲーム大会です。「試合というものを経験してみたいけれどちょっと不安」、「どこのどれに出れば良いのかわからない」、「きっと皆さん、私より上手な人ばかりでしょうから迷惑かけたくない」、「1回出てみたけれど、コワイ思いをしたからもう出たくない…」など、超がつく初心者の方たちはさまざまな思いでいらっしゃることでしょう。同じようなレベルの方たち同士、リラックスしてゲームのワクワク感、楽しさを味わっていただこうと企画した大会です。

NECブリッジフェスティバルで開催した「第1回ビギナーズ杯」は、参加者からも「楽しかった！」と、また、参加を勧めてくださった講師の皆様からも「受講生の目標・励みになる」と大好評で、「ぜひ年に何回か開催してほしい」とのご要望が多数寄せられていました。今大会も多くの参加者が見込まれています。先着順ですので早めのお申込みをお勧め下さい。ブリッジ・インストラクターの方から代わりにご連絡いただいてもけっこうです。

【参加料について】

入会促進企画として、JCBL会員は1セッション¥1,000、一般の方は1セッション¥1,500 とさせていただきます。会員になる“おトク感”を持っていただこうとの主旨です。当日、会場に入会申込み窓口を設け、入会された方には会員価格を適用します。「クラス1のゲームで、ポイントも付き、ハンドコピーももらえる。この機会に会員になるのもお得かもしれませんよ」とお勧めいただく良いきっかけになることをめざしています。

【今後の開催について】

第3回ビギナーズ杯は、来年2月のNECブリッジフェスティバル期間中を予定しています。

その後は、3ヶ月～6ヶ月後に、いずれかのブリッジセンター(常設会場であればクラブでも)で開催予定です。

## ● 8/8 途上国の子どもたちのためのチャリティー・イベントに参加！

イベント名: ビアーズ・フォー・ブックス・イン・オーサカ

<http://www.beersforbooks.org/events/room-to-read-kansai-group>

日時: 8月8日 18:30~21:00

会場: プロント 大阪ビジネスパーク店

### 『One Beer, One Book! ビールを1杯のむごとに、1冊の本が子どもたちへ!』

8月8日夜、大阪市中央区京橋のプロント・大阪ビジネスパーク店で開催される、途上国の子どもたちに教育の機会を提供することを目的に世界中で活動しているNGO「ルーム・トゥ・リード(RtR)」主催のチャリティー・イベント「ビアーズ・フォー・ブックス・イン・オーサカ」でブリッジのデモンストレーション・プレイを行なうことが急遽決定しました。参加者がドリンクを1杯飲むごとに100円がプロントからRtRの現地語出版プログラムに寄附されます。100円は途上国で1冊の本を作る料金だそうです。このイベントに、JCBLと大阪ブリッジセンターが協力するという形で関西のプレイヤー有志の皆様が参加することになりました。

このようなNGOとのコラボレーションにより、「社会に貢献するブリッジ」をイベントの主旨に賛同して出席する各界の人々にアピールし、知名度の向上、また大阪ブリッジセンターでブリッジができますということを知っていただければと思います。

このビアーズ・フォー・ブックス・イベントは2009年中に全都道府県での開催を目標としているそうです。皆様のお住まいの地域でも開催されるかもしれません。ブリッジデモンストレーションが依頼された場合は、ご協力のほど、宜しくお願いします。

#### [チャリティー・イベントの背景]

世界には今なお読み書きができない人が8億人、学校に行くことができない子どもたちだけでも1億人いるそうです。教育の欠如は、貧困の連鎖を生むだけでなく、母子の健康を害し、女性や子どもの人権を侵害し続ける要因ともなっています。

\*「ルーム・トゥ・リード(RtR=本を読む部屋)」は、サンフランシスコに本部を置くNGOです。開発途上国の子どもたちに図書や学校、図書館といった教育施設、女性への奨学金寄贈など、教育の場を提供することにより、子どもたちに未来と希望を提供することができ、そうしてようやく社会が、世界が変わる、との主旨で活動しています。

URL:<http://www.roomtoread.org/>

創設者は、マイクロソフトの元幹部社員の社会企業家ジョン・ウッド。RtR立ち上げのいきさつを書いた著書「マイクロソフトでは出会えなかった転職」は世界的ベストセラーとなり、各国の新聞・テレビでとりあげられたのでご存知の方も多いことでしょう。

\*「ビアーズ・フォー・ブックス(Beers for Books)」は、ルーム・トゥ・リードの寄付を集めるための活動の1つです。

URL: <http://www.beersforbooks.org/>

## ● 東京大学教養学部全学体験ゼミナール ブリッジ講座 7期目修了！

講座名: 「考える力を養う〜コントラクトブリッジ」

2006年4月、日本の大学で初めてブリッジが正式授業として東京大学教養学部で採用されました。それから4年余の7月、7期目の授業が修了しました。これまで履修登録をした200名を超える学生のうち、計109名が「ブリッジ」で2単位を取得しています。

### ●早稲田大学ブリッジ講座 1 期目修了！

講座名：「コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門～論理的思考力を身につけよう」

東大に続き、今年4月から単位が取得できる正規授業として早稲田大学で開講したブリッジ講座が、全 15 回の授業を修了、履修登録者 18 名のうち 12 名が2単位を取得しました。東大とはまた異なる特色を持つ授業の様子は後日改めてご紹介します。

### ●募集！ ブリッジに関する川柳や短歌、俳句など！

ご存知でしたら(自作でなくても構いません)、お知らせください！お待ちしております。

### ●JCBL公式ウェブサイト「マインドスポーツとブリッジ」ページの「教育とブリッジ」更新

これまでにブリッジを何らかの形で紹介した全国の教育現場をリストにして掲出しました。新しい場所(特に、教育現場、公的機関など実績を問われる場所)でブリッジ採用を働きかける際、信用度向上のための「実績」としてお役立てください。

### ●無料入門ソフト「ブリッジ入門」、「ブリッジ入門2」のダウンロード数

JCBL公式ウェブサイトから、入門ソフト「ブリッジ入門」と「ブリッジ入門2」がダウンロードできるようになっています。

「ブリッジ入門」の 2003 年5月～2009 年3月末までのダウンロード数は 36,572 回！1 ヶ月平均 511 回、1 日平均 17 回(名?)ダウンロードされています。

その続編「ブリッジ入門2」は 2004 年 10 月にアップしましたが、2009 年3月末時点で 19,620 回のダウンロード。1 ヶ月平均 363 回、1 日平均 12 回です。すごいですね、これだけの方がソフトウェアでブリッジを覚えてみようとしているのですね。ブリッジは関心を持たれています。どうフォローして いくかが問われているのだということをこの数字が示している、と受け止めています。